

令和3年度第2回中央区緑化推進委員会 議事概要

【出席者】

学識経験者：鈴木委員長、木下委員

区民・事業者代表：岸本委員、中島委員、田中委員、加藤委員

区職員：浅沼委員、望月委員、松岡委員

事務局：水とみどりの課、(株)エイト日本技術開発

【配布資料】

- ・ 議事次第
- ・ 委員名簿
- ・ 座席表
- ・ 資料-1-1 中央区グリーンインフラガイドライン前回委員会からの修正点について
- ・ 資料-1-2 中央区グリーンインフラガイドライン（案）
- ・ 資料-1-3 中央区グリーンインフラガイドライン 技術編（案）
- ・ 資料-1-4 中央区グリーンインフラガイドラインのご案内（案）※パンフレット
- ・ 資料-1-5 中央区グリーンインフラガイドライン今後のスケジュール
- ・ 資料-2-1 P-PFI 導入の広報用チラシ（案）
- ・ 資料-2-2 公園の魅力向上に向けた官民連携方針（案）
- ・ 資料-3 緑化助成制度の見直しについて
- ・ 参考資料 令和3年度第1回中央区緑化推進委員会 議事概要

令和3年度第2回 中央区緑化推進委員会の主な意見内容を示す。

1. 中央区グリーンインフラガイドラインについて（資料-1）

	意見内容
中島委員	<ul style="list-style-type: none">・ 中央区はゼロカーボンシティを掲げており、これについての言及はグリーンインフラガイドラインにおいても必要なのではないかと（たとえば都市緑化はP2-9でも示されるように吸収源として低炭素にも寄与する）。本編の位置づけ（P1-3）や、可能であればパンフレットにおいても言及してほしい。・ 4つの基本指針とSDGsの関係は本編中で触れられているが、これをパンフレットにも入れられると良い。
田中委員	<ul style="list-style-type: none">・ P2-9のコラムで示された街路樹によるCO2吸収量について、街路樹だけでなく区内の緑全般で示せると良いのではないかと。
中島委員	<ul style="list-style-type: none">・ 中央区の森は本来吸収源として区が整備しているものなので、その部分をちゃんとPRしてもよいと思う。

	意見内容
加藤委員	<ul style="list-style-type: none"> 都市開発事業を行う側からの視点では、「ガイドライン」というとどうしても義務的というか、進んでやるというよりやらなければいけないという視点で見えてしまう部分がある。本編の中では部分的に言及されていると思うが、パンフレットなど分かり易い部分でもっと協働的な視点、行政と民間、区民がそれぞれの立場でみんなで作っていくものですよという方向性を打ち出せると良いと思う。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の面からも事業者と区民との協働は欠かせないものになっている。協働、連携といった部分の位置づけは明確にしてほしい。
木下委員	<ul style="list-style-type: none"> P4-8で示される区民・民間事業者の取組のうち、基本指針4にあたる防災・減災に関する取組みが無いのはそれぞれの取組の規模が小さいことへの配慮かと思うが、小さいことでも寄与できる部分はあると思うのでなにか補足の説明が必要ではないか。
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットを見た人がすぐに調べる、取組を始めるアクションを起こしやすいように、情報源に関する記載はもっと充実させるべきではないか。たとえばガイドラインを入手できる場所、閲覧できる場所、DLできるURLなど。とにかく導入しやすくする観点を第一に考えるとよい。
	<ul style="list-style-type: none"> パンフレット見開きの絵はもう少し彩り豊かになるといいと思う。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> 表紙の写真について、パッと見たところ京橋・日本橋に偏っている部分があるのが気になった。水辺は月島の特徴といえるので、そういった部分を示せる写真があると良いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> 日本橋川の写真はすこし水面が暗い感じがする。

2. 公園の魅力向上に向けた官民連携方針について（資料-2）

	意見内容
鈴木委員長	<ul style="list-style-type: none"> P-PFIについては1事業者単独で実施するというより複数事業者で取組む事例が多いと思うが、パンフレットに掲載しているような事例でグッドプラクティスに該当するものがあれば補足してほしい。
岸本委員	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの他区事例はかなり面積の広い公園と考えられるが、現在対象としてイメージしているのはどのような場所か。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> 先進地との交流も含め、良好な事例を視察するような機会があるといいと思う。都内だとどのあたりが画期的な事例と言えるか。
田中委員	<ul style="list-style-type: none"> 以前区内のサポートセンターで住民と対話する機会があった際、中央区の大きな課題として、コミュニティの断絶があるという話が出た。大規模なタワーマンションなどでの住民間の交流がないことは、防災の観点からも大きな問題で、そういった部分でグリーンインフラが貢献できる部分はあると思う。

	意見内容
木下委員	・ パンフレットでも示された官民連携事業に当たっての3つの留意事項は非常に画期的なものであり、これが実現できれば国内でもまれな事例になると思う。こういった部分をきちんと意識して協力できる事業者を探していくことが必要になる。
木下委員	・ パンフレットのデザイン的な部分になるが、「1. はじめに」欄の図の部分、区の課題であったり制度の概説の部分の図がかなり小さいので、文字を拡大する等配慮してもらえると良い。
木下委員	・ パンフレットの方でも実施方針のドキュメントの存在をきちんと示して、参照の仕方を明示すること。
木下委員	・ グリーンインフラガイドライン本編 P4-42 表 4.2 の末尾、「公園の魅力向上に向けた官民連携方針（仮称）」欄の記述（見直し検討内容）は、「～グリーンインフラの導入を要件とすることを検討する」としているが、今回（第2回）である程度決定したものであれば「～要件とする」などに改めてもよいのではないか。
中島委員	・ 以前、国の方の制度で「道路協力団体」に応募したところ、植栽だけでなく実際は道路全体の管理を行うなど募集のハードルがかなり高く驚いたことがあった。P-PFIについても募集条件は分かり易くきちんと明示したほうがよい。
中島委員	・ 公園全体でのカーボンニュートラルなどの取組みへの配慮についても重要だと考えている。
加藤委員	・ このパンフレットや基本方針と一緒に、区が将来的な制度の対象と見込んでいる公園の位置や諸元を示したリスト、マップなどの基礎情報も入手できるようにすると良い。

3. 緑化助成制度の見直しについて（資料-3）

	意見内容
田中委員	・ レストランなど商業施設でも使えるようにした取り組みは非常に良いと考えている。緑化創出だけでなく維持管理に対する支援も今後拡充していただけるとありがたい。銀座のあたりでも緑化施設を作った方がいいがその後のメンテナンスが追い付かず、耕作放棄地みたいになっている場所が結構あるので勿体ないと感じている。
鈴木委員長	・ グリーンインフラガイドラインのほうの創出、維持管理、利活用といった考え方もうまく使っていけると良い。
加藤委員	・ たとえば既存の建築物において、夏季の緑のカーテン用のプランターや登攀用のワイヤなどを設置した場合においても補助の対象となると考えてよいか。
鈴木委員長	・ 緑化助成の推進にあたっては、財政的な支援と同時にガーデニングのノウハウなど技術的な部分の支援も一体的に供給できるようにすると良い。